

もり りんやちよう
〈森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



〔南木曾支署 与川森林事務所〕

森林官 目黒 雅大

与川森林事務所は、長野県木曾郡南木曾町に所在し、南木曾国有林約三、五〇〇鈔を管轄しています。

南木曾国

有林は、木曾川の左岸、木曾山脈南部の摺古木山（二、一六九メートル）の麓に位置しています。面積の約四五%が人工林で、そのうち約六五%がヒノキ林。地形は、全般に急傾斜地が多く、南木曾岳



摺古木山方面から南木曾岳方面（写真左側）の展望

（一、六七九メートル）の西斜面は特に急峻で、地質は風化侵食が進んだ花崗岩地帯となつています。また、南木曾町の年間降水量は多い年には三千ミリに達します。



新設された治山ダムの一基

こうした地形・地質や気候によつて、南木曾町では過去から土石流による被害が数多く発生しており、地元では土石流の事を「蛇抜け」と呼んで恐れてきました。最近では平成二十六年に大規模な土石流災害が発生し、南木曾国有林でもこの災害に関連して治山ダム五基の新設と二基の補修を行いました。再度の災害防止事業を実施しました。

森林事務所としても災害に強い森林作りをしていく必要があり、



リンロンテープの巻き作業

森林の持つ保全機能を発揮させるため、保育間伐を中心とした森林整備を計画しています。また、管内ではツキノワグマとニホンジカによると思われるヒノキの剥皮被害が発生しており、リンロンテープ巻き等の獣害対策に力を入れて取り組んでいます。

南木曾国有林が所在する与川地区には、歴史を感じることできる見所がいくつかあり、その一つが与川道です。この道は、中山道の三留野宿と野尻宿の間が水害により通行不能となった際の迂回路として用いられていました。与川道は当時の姿がよく残っていたため、現在は「歴史の道」として復元整備され、ハイキングコースとなつていきます。

また、与川地区にある白山神社では、春と秋に祭礼が執り行われ、今から百九十年ほど前の寛政年間に加賀白山の人が



白山神社祭礼の雌獅子の舞

伝えたという、雌獅子による典雅な悪魔払いの舞が奉納されます。さらに、中秋の名月には、かつて古典庵という僧坊があつた広場で観月会が開催され、その景色は、木曾八景の一つにも選ばれています。

当事務所は森林官一名、森林技術員一名、行政専門員一名の三名で、森林保全巡視・各種事業の監督・境界巡検などに従事しています。



与川森林事務所の三名（真中が著者）

■未来の担い手へのメッセージ
 健全な森林づくりというのは気の長い仕事ですが、自らが携わった仕事の後世まで残るといふのは、移り変わりの激しい現代において特別な仕事でもあります。また、森林官はじっくり山と向き合うことができる仕事でやり甲斐があります。

この他にも、林野庁には様々な仕事があり、私は、進路の一端に林野庁を是非お勧めします。

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



白鳥林工協業組合

上野 貴司

(二〇一六年入社)



爽やかな笑顔をバシヤ！
 (上野さん)

■事業の概要

請負工事・請負事業・森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 飛騨3小井戸）源地域整備工事

発注者・飛騨森林管理署

事業地は、高山市清見町の小井戸国有林で、植栽して五十年から

八十二年が経過したスギ・ヒノキ人工林です。保育間伐活用型の事業は過密になった森林の林分密度を調整し、伐採木を造材して搬出する事業です。人工林を手入れすることで質の良い木を育てると同時に、生物多様性や水源涵養、災害防止など様々な効果が期待できる森林整備事業で、暗かった森林が間伐により林床に陽の光が差し込み爽快な森林に変わります。

■現場での役割・魅力

自然が相手で自らの判断に任せられることなど、やり甲斐は色々ありますが、伐倒や造材を行う時、生産する丸太にいかにも価値を付けるかをいつも考えています。材に傷を付けないよう伐倒方向に段差や岩がないか、芯抜きや斧目などを入れるか入れないか、合わせ切りの精度など、ちょっとした技術や判断のミスで丸太の商品価値を下げてしまわないよう常に心がけています。先輩に、「木の命を奪って飯を食べているという責任と感謝の心を忘れちゃいかん」と教えてもらいました。その気持ち忘れず日々頑張っています。



責任と感謝を心に、間伐作業

■林業土木の世界に入ったきっかけ

林業を始める前は、北アルプスの山小屋で働いていました。元々スキー・登山や山菜採りが趣味で、毎日山にいたいと思ったから単純にこの仕事を選びました（笑）。実際に林業を始めてみると物凄く奥が深く、三年経った今でも技術面のほかに作業手順・要領など、毎日が勉強で、とてもやり甲斐を感じています。

■未来の担い手へのメッセージ

常に危険と隣り合わせの仕事柄、作業の時は集中力・緊張感を維持し安全に作業することが第一です。自然の中での仕事で厳しいこともたくさんあると思いますが、それ以上にやり甲斐や楽しさを見つけることができる職場なので、まずは山を好きになってほしいです。

いです。白鳥林工協業組合の山林部は、造林、素材生産を三班で実施しており平均年齢は四十歳で、技術を身につけようと真摯に山に向き合っており、とても活気のある職場です。自然豊かな職場で仕事はもちろん、山菜採りや、動物、森林浴などを通じて山への感謝の気持ちを育んでいってください。

また、白鳥林工協業組合では造林・素材生産等の川上の仕事と、製材・木材加工等の川中の仕事も行っており、地域の良質な木材の質感を活かした造作用集成材やフローリング等を製造しています。自分達で伐って出してきた木材が製材・加工され、製品となるのを見ることはすごく多くの発見があり勉強になります。



林業機械で集材作業

もり 《森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）》

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社 内山組

平栗 ひろくり
大義 ひろよし

(二〇一七年入社)



自動追尾測量器を用いてワンマン測量をしている平栗さん

事業の概要

請負事業・畑沢復旧治山工事

発注者：伊那谷総合治山事業所

本工事は飯田市上飯田松川入陣ヶ沢国有林において〇・三七鈐を練ブロック積土留工・丸太筋工・軽量植生シート水路工・軽量植生シート水路工水路工呑口・植生マット伏工・特殊配合モルタル吹付工・のり切工を主な工種として施工する山腹工の治山工事です。

現場での役割・魅力

現場代理人・主任技術者として発注者様との打合わせをはじめ、施工管理、安全管理、工程管理など現場の運営全般を行っていただきます。

設計に基づいて施工するのはもちろんのことですがその中でも崩壊の状況に合わせて工種の位置配分を調整したりとセンスが問われやりがいを感じます。

また、重機などの建設機械が寄り付けないため大半が人力での施工となりますが、夏場は標高が高い涼しい自然の中で汗をかきながら仕事をすることもよいものです。

林業土木の世界に入ったきっかけ

小さいときから森の中で木登りをしたり沢でカニを取ったりと自然の中で過ごすことが好きでした。以前勤めていた土木会社では街の中で仕事をすることが多かったのですが昔を思い出して森林など自然の中で働き

たいと思うようになりこの業界に転職しました。

森林の中で土木構造物を作るのはとても面白いです。現在は樹木の種類の勉強中です。

未来の担い手へのメッセージ

林業、建設業における若者の人手不足は特に痛感しています。長く安心して働くための職場環境（休暇の確保など）をつくり、女性が活躍しやすい環境づくり（快適トイレの設置）を現在積極的に行政でも取り組んでいただいています。以前の3Kとちがいが、きつくない、汚くない、危険でないという環境づくりを積極的にやっているのが若手の方、女性の方、是非一緒に働きましょう。



施工途中の現場の様子



現場を背景に仲間たちと（前列真中が平栗さん）